

2019年11月12日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【微笑みながら「イライラ相場が続きますね」と挨拶する】

このところの外国為替相場には、「膠着感」が付きまとっている、といったところでしょうか……。

11月半ばになっても、相場に活気が見られません。

多くの市場参加者は、「ここはガマンのしどころ」と耐えながら、チャンスを待ち続けているはず  
です。

相場を動かす材料が無いのではなく、不確実、不確定の要因が多く、積極的に出られないので、  
余計にイライラするのもかもしれません。

米中の貿易交渉にしても、中国の言い分（中国の公式発表）と、米国の発表に違いがあるので、  
米中が、どのような「合意」になるのか、不透明のまま。

憶測するならば、米国が中国に強い要求をしており、中国は、ある程度の妥協をしたのだろう、  
と考えます。

中国は、ある程度の妥協をしたのだから、段階的に、追加した関税を解消する方向での「合意」  
をするつもりなのだろう、と推測します。

しかし、米国側は、現時点での「合意」は、限定的な妥協に過ぎず、追加した関税を緩める程の  
内容（合意）ではなく、米中の貿易交渉は、次のステージ（段階）に進む、と考えている節があ  
る。

このような状況下では、勝手に、結論を推測して、相場に手を出すわけにもいかない。

このような場面で、自分からの推測で動いてしまうと、万一、その推測が外れた場合は、大きく  
損失を被る可能性が高い。

だから、待つしかない。

待っていれば、チャンスは必ず訪れるはず。

ただし、気を抜かずに、まだしばらくはガマンを続けながらタイミングを待つことになるのでし  
ょう。

+++++

そもそも相場における楽しい時間（活況な時間）は、つまらない時間（混沌とした時間）よりも圧倒的に短いもの。

楽しい時間を 1 とすれば、つまらない時間は、感覚的にはその 10 倍でしょう。

だとすれば発想を転換して、「つまらない時間」「イライラする時間」を楽しむほうが、精神衛生には良さそうです。

もし投資仲間がいるのであれば、眉間にしわを寄せて「イライラしますね」と言うのではなく、ニコニコしながら「イライラが続きますね」と挨拶する。

ちょうど梅雨時に「長雨が続きますね」、夏場に「今日も暑いですね」と言葉を交わしながらも、不快な時期も四季の一部と捉えて楽しむのと同じ感覚です。

またそのくらいの心構えがないと、イライラする時間を乗り切れません。

イライラを楽しみながら、その先に訪れるチャンスを手の中にしてください。

+++++

ドル／円は、引き続き、想定されたレンジ内にあります。

だから、まだ、ドル／円は、こう着状態にあり、「つまらない相場」「イライラする相場」と感じます。

ユーロ／ドルは、想定されるレンジ内での、やや高値圏ゾーンにあるものの、少し崩れだした感もあります。

相場が動き出すことを期待しています。

+++++

（2019 年 11 月 12 日東京時間 14 : 10 記述）